

NGU NEWS ISSN 0915-8901

# COSMORAMA

58

2000  
MAY



初夏のキャンパス - 湖面を舞う白鳥

CONTENTS

Interview

私の介護体験…………… 1

Topics

2000年度入学式を挙…………… 2

大学院はサテライトで開講式

新学長に木村光伸教授…………… 3

シティーカレッジ2000を開講

NGU Focus

一般試験で試験日自由選択制を採用…………… 4

NGUエクステンション・プログラム

科目等履修生を積極的に募集…………… 5

Essay

シリーズ⑦「コーシンが行く瀬戸の街」  
ランドマーク 木村光伸…………… 6

シリーズ⑦ エッセイ

ニューヨークでの滞在

達本美香…………… 7

NGU Focus

ホームページ改編で目指すもの「使える道具」へ

児島完二…………… 8

Campus Now

ゼミナール訪問

「名城ゼミ」 名城邦夫…………… 9

「姜ゼミ」 姜喜永

サークル短信

体育会「スキー部」…………… 10

文化会「軽音楽部」

マンガでプロデビュー 高寺 稔…………… 11

教育振興資金 募金の御礼とご報告

Information

1999年度卒業証書・学位記授与式…………… 12

佐藤自郎学長が退任

さかえサテライトの利用について

チャペルコンサートを開催

2000年父母会総会を開催

2000年度新任者紹介

行事予定 5～9月

COSMORAMA(コスモラマ)の由来

「宇宙」や「世界」を表わすCOSMOS(コスモス)とPANORAMA(パノラマ)との合成語。19世紀にロンドンの街角でしばしば行なわれた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが最初。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにとNGU NEWSの愛称に採用しました。



私の介護体験

村田先生を聞いて対談をしてみました。

いわゆる介護等体験特別法(1998年4月1日施行)により、「義務教育の教員免許を受けようとする場合、社会福祉施設等で7日以上以上の介護体験を行うこと」が義務づけられました。本学では昨年4月にボランティア学入門・障害者と高齢者の心理・障害者福祉と教育などについて介護体験ガイダンスを行い、5月には瀬戸市福祉保健センター「やすらぎ会館」を訪問して「社会福祉の実技等」について事前指導を受けました。

村田 それぞれ名前と介護体験を行った期間、施設を教えてくださいませんか？

伊倉 伊倉です。私は12月13日から5日間、特別養護老人ホーム瀬戸寮に行きました。

井上 井上です。8月21日から5日間、養護老人ホーム陶寿荘に行きました。

渥美 渥美です。私は8月2日から6日にかけて陶寿荘へ、また23・24日の2日間は豊田養護学校へ行きました。

岡本 岡本です。私も8月上旬に陶寿荘へ、下旬に豊田養護学校へ行きました。

村田 大学で事前にガイダンスや指導を受けて行かれたのですが、事前に得た予備知識と実際との違いはどうだったのでしょうか？

伊倉 私は高校の時に一度学校から老人ホームに行つたことがあるのですが、その時に行った老人ホームは、みなさんとてもお元気で、1人に1部屋が与えられて、その部屋で自分の好きなことができるようになってました。

今行った瀬戸寮はどちらかと言えば病院のような感じで、症状も重度の人が多く、寝たきりの人や、中には子供みたいな人も入所されていて、前に行った時とは全く違う印象を受けました。

井上 僕は伊倉さんとは全く逆で、老人ホームといつてかなりの介護を必要とする人がたくさんおられること



伊倉由梨 (外国語学部2年)  
井上 啓 (外国語学部2年)  
村田貞雄教授 (経済学部)  
渥美慶子 (外国語学部2年)  
岡本五十鈴 (外国語学部2年)



## 私の介護体験



瀬戸寮

思っていたのですが、実際お会いしてみると、みなさんとても元気で普通のおじいちゃん、おばあちゃんたちがほとんどでした。  
渥美 中学の時に陶寿荘に行っていたことがあり、その時にも元氣な人が多かったので、その時のイメージを持って行きました。

岡本 私も井上君と同じ陶寿荘へも行きましたが、老人ホームといふとかなり重度の人がおられるというイメージがあったのですが、元氣な人が多かったことにギャップを感じました。

村田 具体的にどのような体験をしてきましたか？

伊倉 私は朝10時ぐらいから4人がそれぞれに分かれ、おむつカバー・シーツ類の洗濯をする人、布団もかなりたくさんあり、たたむ人、干す人、食事の準備をする人という感じで、分担して補助的な仕事をしました。

食事の時は、手が硬直している人や重度で二人では食べられない人のお手伝いもしました。また大勢のお年寄りがおられ、お風呂は順番に入らなければならないのですが、その間にベッドのシーツを換え、帰ってこれるまでにおむつを用意しておきます。

帰ってこられたら服を着せてあげるので、手足が動かない人を見るのは初めてで、介護士さんには、「痛くないから普通にゆくり着せてあげて」と言われたのですが、みなさん裸なので、少しでも早く着せてあげようと思っても、やはり介護士さんたちには追いつかなくて足手まといになってしまいました。

村田 特殊な体験についてはどうでしたか？

伊倉 瀬戸寮ではおむつをつけている人が何人かおられて、1枚で済む人もいれば4枚要する人もおられました。お風呂の時はおむつを脱がせたりもしましたが、中には服を着せる時に痛いと言ったり、かみついてきたり、叩かれたりもして、最後には介護士さんをやっていたりすることもありました。

村田 陶寿荘はどうでしたか？

井上 僕は比較的楽しいことはばかりで、訪問した初日にはホールでカラオケ教室がありました。他にも月に1・2回日本舞踊の教室が行われるなど、元氣な人が多いせいか、楽しく生活しているといった感じでした。

食事はまるで小学校の給食のようだったので、自分分ではあるというのが陶寿荘のモットーらしく、杖を歩いて歩く人もご飯を自分でつきにしたりしていました。お手伝いは食事の前にアルコールで消毒したり、おかわりをすすめるにまわるくらいでした。

後は部屋を回っておじいさん、おばあさんの話を聞いたりもしました。

渥美 私もお年寄りから色々な話を聞いたのですが、老人ホームに来ている人は家庭に問題がある人や戦争で旦那さんをなくされた人など、事情のある方もいて、様々な人生の話も聞きました。



陶寿荘

岡本 できることは自分でやるというのを寮母さんがおっしゃっていて、最初は手足が動かなくてお風呂に入れなかった人も、できることはなるべく自分でやっているうちに、自分でお風呂に入れるようになったという話を聞いて驚きました。

また、毎日どう過ごすかというのを寮母さんもお年寄りの方も真剣に考えていて、自分の趣味等を通して今を楽しそうに暮らしているように感じました。

村田 悩みや苦しみを聞いてもらえるのは、お年寄りにとっても良いことだと思いますが、そういうお話をお話聞くことで皆さんの人生経験が広がるという点でも良かったかもしれませんね。

井上 言語障害で言葉を忘れてしまつ病気にかかっている人が、息子さんの顔を見て名前を言えないなど、見ていてとてもつらい場面もありました。

それでも小学生が使っているようなドリルをやったりして生懸命勉強している姿に感心しました。趣味で写真を始めたり、新しいことに取り組む姿勢には見習うべき

きものがあったと思います。

渥美 新聞やラジオなどから得た情報について自ら考えていくとする意欲があるのを見て、はたして自分が老人になって、そういうことができるのだろうかと考えさせられました。

村田 その他学んだことなどあればお話しください。

伊倉 みんなで仲良く生活しているという自分のイメージとはまた少し異なった老人ホームの二面を見たという感じでした。

ときには、まるで小学生の行動を見ているような場面もあり複雑な気分でした。にもかかわらず、一人一人にあった対応をしている寮母さんたちには本当に感心しました。「変な子供よりかわいいでしょ？」と言われた時には本当にその見方が全然違つことに驚きました。実際大変でしたけど、勉強になりました。

井上 僕の中で職業観が少し変わりました。僕は教員になりたくて介護体験をしたのですが、今はおじいちゃん、おばあちゃんが困っていたら自然と手をさしのべたくなるし、今回の介護体験は、こつこつ仕事もしたいなという気持ちにさせられるほどいい経験でした。

渥美 子供が目を離せないのと同じように、お年寄りにも同じことを感じさせられました。お年寄りは孤独感を強く感じていると思いました。陰口をきいたりするのは自分が一人になるのが怖いからそういうじわるをしているのかもしれないし、自分の将来の老後のことまで考えてしまいます。

岡本 できることは自分でやるというのを、しっかりと実践して、本当はできぬことをやっつけてあげている、できなくなってしまう。やっつけてあげたいという気持ちを持ちながら、その人のために厳しさをもちて接する。これは教育にも通じるものがあるのではないかと思います。先生が生徒にわからないことを教えるのは、当たり前なのですが、生徒のためには自分で答えを見つけてさせることも必要なのかなと思いました。

この取材には新聞会・武田康弘さん(経済4年)、真鍋正典さん(経済4年)の協力を得ました。

# 2000年度入学式を挙行



2000年度入学式が4月3日(月)の午前10時30分から栄光館で挙行されました。

今年は正門から続くメインストリートに桜の開花は見られませんが、NGUバスから降りてくる新入生のみなさんの顔は希望に満ち満ちているようでした。

式典はキリスト教主義大学らしくオルガン演奏が響くなか、賛美歌斉唱、聖書朗読が続き、この4月就任の木村光伸新学長が、自ら考え自ら行動する成熟した大人への脱皮を期待



する」と式辞を述べ、それに応え大学院代表の中島経年さん、外国語学研究所英語学専攻(学部代表)の酒井貴代さん、外国語学部中国語学科(留学生別科代表)のAmanda Bett Williamsさん(アメリカ)から力強く宣誓のことがありました。

また、当日は式場に入場できないご父母のために、思星館2階に特設会場としてTVモニターを用意して、式場の臨場感と雰囲気味わってもらいました。入学式終了後は、学長からご父母にあいさつがあり、その後、経済・商・外国語学部長および教務部長、学生部長、就職部長の紹介を行い、それぞれの立場からキャンパスライフについての説明がありました。

## 大学院はサテライトで開講式

大学での入学式に先立ち、大学院では、平日の入学式に参加できない社会人入学生等のため、4月1日(土)午後1時30分より、さかえサテライト(名古屋市中区栄中目ビル7階)で開講式が行われました。

開講式は大学院担当教授出席のもと、学長および経済経営研究科長、外国語学研究科長のあいさつに続き、履修方法等大学院ガイダンスのほか、情報教育センター、図書館の利用について説明がありました。

学 生 数 (大学院・学部・留学生別科) 2000年5月1日現在

大学院	研究科	専攻(課程)		1年	2年	合計
		専攻(課程)	専攻(課程)			
大学院	経済経営	経済学(修士)		6	12	18
		経営政策(博士前期)		61	79	140
		経営政策(博士後期)				27
大学院	外国語学	英語学(修士)		7	9	16
		中国語学(修士)		4	6	10
		合計		78	106	211

学部	学部	学科	1年	2年	3年	4年	合計
		政策学科	180				180
	商学部	商学科	396	351	395	425	1,567
	外国語学部	英米語学科	207	205	177	196	785
		中国語学科	64	49	61	62	236
	合計		1,299	1,158	1,183	1,324	4,964

留学生別科	22
総合計	5,197



## Topics

# 新学長に木村光伸教授



このほど木村光伸経済学部教授が学長に就任いたしました。佐藤自郎前学長の任期満了に伴い選出されたもので、任期は2000年4月1日から2003年3月31日の3年間です。

木村新学長は1949年6月京都生まれの50歳。1973年京都大学農学部卒業後、日本モンキーセンター研修員などを経て、1983年本学経済学部へ就任。1998年教授。大学設置基準の大綱化以降、経済学部のカリキュラム改革の中心的推進役を果たし、本学教学改革の環としての全学カリキュラム改革では、共通教育運営委員長および全学カリキュラム検討委員会委員長としての活躍されました。専門は地域生態論、霊長類学で、これまで

アマゾン熱帯林でのフィールド調査を中心に南米、中国、日本において意欲的に野外研究をすすめています。

また、地域とのかかわりでは、大学が立地する瀬戸市で「2005年愛知万博」が開催されるにあたり、研究プロジェクトを組織し、研究活動はもとより地域に対する講演会やシンポジウムの開催、さらに、地域の自然や文化に関する委員会などの参加まで、愛車ジムTを駆って、精力的な活動を行っています。

1996年度より全学部向けに「瀬戸学入門」を開講し、地域を実際に体感させ、自然・文化・産業と暮らし全体の統合的な関係を考えさせる授業として、今後の展開を地元からも期待されています。学生を学外へ連れ出している自然学習や本学山の家での合宿など、教室を離れたところでの指導、また対話を大切にすることも定評があります。学生にはトレードマークの「ヒゲ」とともに「光伸(こうしん)先生」と親われ、厳しい授業でありながら、なぜか受講者は多いようです。学長在任中は教学のトップとして大学行政に専念するためゼミのほかは授業ができなくなり残念とのこと。

## シティーカレッジ2000を開講

本学のエクステンションセンターは活動を開始して3年目となり、地域への開放も定着してまいりました。今後も期待されるプログラムの企画を予定しておりますが、2000年度前半のプログラムが決まり、受講者募集の案内を行いました。

### コミュニケーション講座

#### 英語で万博 初級コース

講師 John O'Brien  
場所 本学「さかえサテライト」  
日時 5月25日(木)から毎週木曜日  
全10回 14:00~16:00  
受講料 5,000円

#### 英語で万博 中級コース

講師 John O'Brien  
場所 本学「さかえサテライト」  
日時 5月26日(金)から毎週金曜日  
全10回 14:00~16:00  
受講料 5,000円

#### 英語発音の学び方・教え方

演題 Hidden Difficulties in Pronouncing English  
講師 Rebecca M. Dauer  
場所 本学「さかえサテライト」  
日時 8月30日(水)14:00~16:00  
受講料 無料

## 名古屋学院大学 シティーカレッジ2000 プログラム

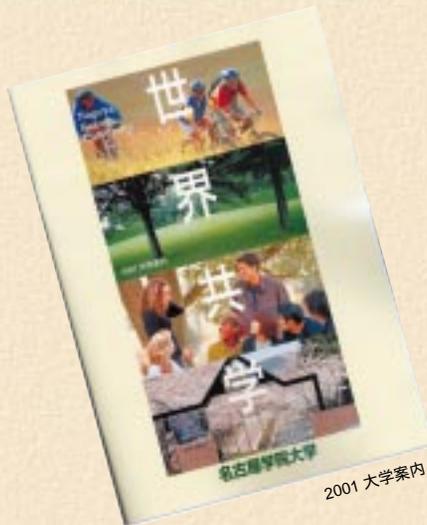
### 文化講座

#### 風の音楽 - 歴史的オルガンを弾く

講師 辻 宏 / 有田知子  
場所 本学チャペル  
日時 5月27日(土)から隔週の土曜日  
全5回 13:30~16:00  
実技受講者は3,000円  
聴講のみは無料

# 一般試験で試験日自由選択制を採用

学部・大学院2001年度入試日程



2001 大学案内



入試ガイド 2001

ここ数年名古屋学院大学の入試スタイルは大きく変化しました。それは一人でも多くの受験生が受験の機会を得て、本学で学生生活を送ってほしいという願いから、さまざまな入試方式を取り入れたことです。昨年の2000年度入試では、体験入学によるAO入試の新設をはじめ、とくに力を注いだ指定校推薦、そして年々増えるスポーツ推薦、従来の一般推薦や外国人留学生・海外帰国子女・社会人を対象とした特別試験のほか3年次への編入学試験等も含めて多彩な入試が展開されました。一般試験においても調査書の得点化プラス教科選択制を導入するなど、多様な入試制度の結果、18才人口の減少が続くなか例年より多くの新入生

を名古屋学院大学のキャンパスに迎えることができました。とくに前述のAO入試は各種マスコミで取り上げられるなど注目を浴びたこともあり、向学心に燃えた新入生を多数得ることができました。

さて2001年度の入試においては、これまでの入試方式に加え、さらに受験生に本学への受験機会を持つてもらえるよう、一般前期試験において試験日自由選択制を導入しました。英米語学科を除く全学科において2月1日から3日までの3日間に受験しても同じ科目で希望学科の受験ができるようになり、本学内の併願機会が増え、受験スケジュールが立て易くなりました。入試日程は次のとおりです。

## 学部入試日程

- 10月21日(土) AO入試(夏季休暇中に体験入学)・編入学試験(指定校、一般)
- 11月11日(土) 指定校推薦・スポーツ推薦
- 11月18日(土) 一般推薦試験
- 2月1日(木) 一般試験前期 英米語B
- 2月1日(木) } 一般試験前期 経済A 政策A 商A 中国語A
- 2月2日(金) } 試験日自由選択制試験
- 2月3日(土) }
- 2月4日(日) 経済C 政策C 商C 中国語C 英米語A
- 2月2日(金) 編入学(一般2次)、特別(外国人留学生・海外帰国子女・社会人)
- 2月27日(火) 一般試験後期

詳細については、2001年度入試要項をご覧ください。 問い合わせ先：入試広報課 0561-42-0339

## 大学院入試日程

- 9月23日(祝) 期 修士課程 経済学専攻/英語学専攻/中国語学専攻
- 9月30日(土) 期 博士前期課程 経営政策専攻
- 2月10日(土) 期 修士課程 経済学専攻/英語学専攻/中国語学専攻
- 2月12日(月) 期 修士課程 英語学専攻/中国語学専攻
- 2月17日(土) 期 博士前期課程 経営政策専攻
- 2月18日(日) 期 博士後期課程 経営政策専攻

詳細については、2001年度入試要項をご覧ください。 問い合わせ先：大学院事務室 0561-42-0346



# NGUエクステンションプログラム

## 科目等履修生を積極的に募集

本学では科目等履修生制度を活性化するため、また、本学の多岐にわたる知的資源である科目群を広く社会に還元するため、とくに社会人の科目等履修生の積極的募集を行うこととしました。

科目等履修とは、本学の学生以外の人が本学で開講される授業科目の一部を履修して一定の単位を修得することを可能にする制度のことです。

近年は労働時間短縮による余暇時間の増大、情報化社会における知的欲求の高まりなどさまざまな要因から、社会全体の生涯学習ニーズが高まりつつあり、その対応が大学の新たな使命となってきました。

このため、本学でも社会人大学院の開設や各種公開講座の開設をおこなってきましたが、「多様な学習機会の提供」の環として、学部・科目も科目等履修制度をエクステンションプログラムの形態として位置付けて展開していくこととしました。

### プログラムの一例は次のとおりです

#### 英語の基礎を身につけたいあなたに…

本学では、基礎英語、英会話、英語ハローアップ、情報英語などの充実した英語科目を開講しています。また、英検2級、英検準1級、TOEIC対策などの資格取得講座を受講することもできます。所定の費用の他に別途、受講料が必要です。

#### 外国語の基礎を身につけたいあなたに…

本学では、外国語科目としてドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語を開講しています。これらの言語を学んで、英語、フランスもついでに外国語を修得してみませんか？

#### 英語の能力をより高めたいあなたに…

外国語学部英米語学科では、英語演習科目を多数開講し、英語の「読む・書く・話す・聴く」能力

のアップをめざします。また、英語圏の言語・文学・社会・経済・歴史などを学修する科目も充実し、トータルに英語の力が身につきます。TOEFL受験の準備にも適しています。

#### 中国語の能力を高めたいあなたに…

外国語学部中国語学科では、中国語演習を多数開講し、初歩から応用まで段階的に勉強できます。中国人教員による小人数の対話型授業で、「使える中国語」を身につけ、「中国語検定試験」「HSK漢語水平考試」「TECC」中国語コミュニケーション能力検定」に挑戦できる実力がつきます。

#### 会計や情報処理の技術を修得したいと考えているあなたに…

「情報処理入門」科目では、パソコン利用のノウハウが学べます。商学部では、より実践的な教育に力を入れ、とくに、会計学では簿記を中心に、税理士や公認会計士に挑戦するための基礎知識が養えます。また、インターネットの活用やホームページの作成などの情報処理能力を修得できます。その他、日商簿記2級や第2種情報処理技術者、初級システムアドミニストレータなどの資格試験対策の講座が開講されています。所定の費用の他に別途、受講料が必要です。

#### 地域社会に関心のあるあなたに…

本学が立地している地域(瀬戸)のことをより深く学ぶため、「地域と共生」というテーマの科目群を設置し、地域学入門、陶磁器概論などのユニークな授業を開講しています。また、経済学部では本

年度より政策学科を開設し、地域政策に関する興味ある講義を展開します。これらの科目を履修して、みなさんが住んでいる地域や街について考えてみませんか？

#### 教員免許状を取得したいあなたに…

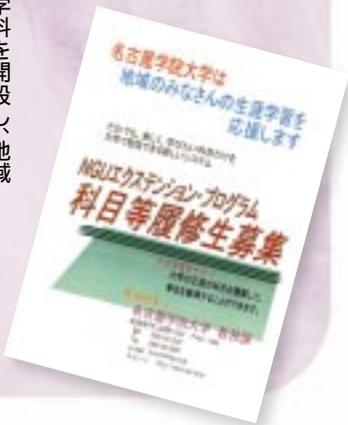
本学では中学校、高等学校の教育職員をめざす学生のために教職課程を設置しています。取得できる免許状は中学二種(社会、英語、中国語)、高等学校二種(地理歴史、公民、商業、英語、中国語)です。このプログラムを利用して、多くの人がこれらの免許状取得のために、勉強しています。

### 科目等履修生 募集要項

提出していただく書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 科目等履修願</li> <li>② 履歴書</li> <li>③ 証明書(最終学校の卒業証明書・成績証明書)</li> <li>④ 健康診断書</li> </ul>
申し込み期限	春学期受講希望者 2月末日 秋学期受講希望者 8月末日
納付金(履修料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 登録料 30,000円(初回時のみ)</li> <li>② 履修料 1単位につき 10,000円</li> </ul>
その他(諸証明)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 科目等履修証を発行します。</li> <li>② 修得した単位の証明をします。</li> </ul>

名古屋学院大学 教務課  
 〒480-1298 愛知県瀬戸市上品野町1350  
 Tel 0561(42)0342 Fax 0561(42)0629

申し込みと問い合わせ



# ランドマーク



尾張瀬戸の駅を降り立つと、そこはすでに瀬戸川を挟んで東西に家並が軒を連ねる市街地の真ん中である。とはいっても、旧街道の面影があるわけでもなく、陶器商が互いに商品を競っている風でもなく、さらにはいつと街歩きを楽しむ人がいるわけでもない。専ら窯業原料や珪砂を山と積んだタンクや斜陽と化した陶磁器商品を運びつづけるトラックなどが、市街地を通り抜けることだけが目的の乗用車群を追い立て、砂埃を撒き散らしていくのみである。そんな街でいま、産業観光というか観光産業といえはいいのか、ともかく新しい街の魅力作りに取り組んでいる人たちがいる。

瀬戸にやってくる観光客は年間およそ100万人。その半数は九月の第三土・日曜日におこなわれる「せともの祭り」に集中している。だから外来者の関心が安い「せともの」を買ったことにあるのはやむを得ないことではあるが、それにしても瀬戸の街の観光客に対して配慮に欠けることは見るに耐えない。「茶碗ついで」も、売り方一つものがあるだろうが、まったく「と嘆くのは、コースン先生だけではあるまい。最

近づくにつれてきた瀬戸学入門という授業では学生諸氏が街を歩いてレポートするのはいわば彼らの学習の中心のだが、そこで彼らが出会う「瀬戸の皆さん」は概ね外来者に対して親切で純朴としてもいらいださずだ。遠方からやってこられる観光客の多くが同じような印象を持ってくださるとありがたいのだけれども、私自身の経験からしても、どうもそうではなさそうである。

このところ瀬戸の街をまわるとミュージアムにしてしまおうという瀬戸市の発案が少しずつ形になり、町並みのあちこちに観光スポットとでもいっべきものができ始めた。「窯垣の小径」資料館、新世紀工芸館など、いずれも瀬戸ならではの見せ場となるはずの施設である。それが



ランドマーク「蔵所交番」

今のところ点として存在し、個別にしか瀬戸を見せたくないところが問題ではあるが、そこにもう一つ中核となる施設ができれば、瀬戸まるごとミュージアムは歴史と文化の広がりを感じていせものになり得るのではないだろうか。

その中核が今検討されている「やきもの博物館」であるのかはたまたまもうアマミューズメントに徹したものなのかはこれからの瀬戸まちづくり論議の中で十分に考えなければならぬだろう。

私は「やきもの博物館」を真剣に考えるべきだと思う。もっとも瀬戸には愛知県陶磁資料館という巨大施設がすでにあり、しかし瀬戸の町興しやまちづくりにはほとんど貢献していないという悪しき実績がある。したがってもう一つ類似の「はこもの」を造ってもそれだけでは何の役にも立たないだろう。むしろ産業としての陶磁器を販売戦略までくめて見せる施設、体験が中心の施設、そして豊かな歴史が感じられる施設が必要なのではないか。それが瀬戸の観光の中心となるように、私は提案したい。

瀬戸に散在する寺社旧跡など旧来の観光スポットと瀬戸が戦略的に点在させた新しい見せ場を繋ぐ導線として、新たにプロムナードを考える必要もあるだろう。その遊歩道には昔からある古い建造物が似合わねばなるまい。記念橋の南側にひっそりとたたずむ蔵所交番はそんな風景にぴったりではないか。それが中心市街地の再生計画では取り壊されることになるらしい。それは困る。瀬戸のイメージに残映のようにそつじた建物があることで、フィールド・ミュージアムは一つの歴史的意義を持つことができるのだ。瀬戸に似合うランドマークを、私たちが探しつづければならぬだろう。

それにつけても産業観光が成立する唯一絶対の条件は、産業が元氣であるということに尽きる。

木村光伸 学長



## ニューヨーク での滞在

この春、2月下旬から3月上旬にかけて、学生の引率とちょっとしたリサーチを兼ねて、ニューヨークへ行ってきた。アメリカは西海岸の方で生活経験があり、ニューヨークも初めてではなかったが、学生の時に行ったきりだったので、今回は新鮮な目で感じる場所があった。少し主観的ではあるが、街の印象について触れてみたい。

空港へ着くと、シャトルを予約しホテルへ。ホテルではまず、危険な地域や安全面でのチェックポイントについて聞いてみた。すると、以前よりニューヨークは安全になり、危険な地域や人影のないような場所さえ避けていけば、夜に出歩いても、それほど危険ではないと言う。

実際、夜間に散歩がてら、ぶらぶら歩いてみたが、11時や12時頃でもけっこう人が歩いていて、道路もライトで明るく、24時間営業のレストランも多く、その店内では楽しそうにお喋りしている姿があり、それなりに賑わいを見せていた。そして、道路には、ある程度の間隔を置いて警官が立っており、危険というイメージはなかった。



ニューヨークの街角で

以前は危険だと言われていた地下鉄も、現在はかなり改善されているようで、駅員から見えるところに待合所が設けられており、そこからでなくても人の多い場所から乗ればよく、ここでも危険という雰囲気は感じられなかった。

次にレストラン。物価が高いのは分かっていたが、請求書にチップの代金がすでに含まれているのには驚いた。昼でも夜でも15%のチップを、そのサービスのよし悪しに関わらず求めてくるのである。そうでないところもあったが、旅行者に対しては通常そうしているようだった。これはおそらくチップ制でない国から来た人達が、知らずにチップを払わないことが多かったことに原因があるのだろうが、こちらとしてもサービスが悪く、しかもまずい料理を出された上に、15%のチップを平気で要求してくるレストラン側にも閉口したので、そういう時はカードを使わず、現金で支払い、ひどいサービスの時はもちろんチップなど置かなかった。この経験から、ニューヨークでは現金が多めに必要だということが分かったのがせめてもの収穫と言えるだろうか。

そして、タクシー。さすがニューヨークのタクシーだけあって、わざと回り道をして、余分に料金をせしめようとするドライバーがいた。それも、乗る前に領収書を要求して証拠が残るにも拘わらず…。もちろん文句を言って、チップも渡さなかったが、あまり気持ちのよい経験ではなかった。

久しぶりにアメリカへ行ってみて、多少安全になったとはいえ、特にニューヨークのような都会では、常に何らかの形で「戦い」を要求されるのだなと改めて感じ、また一方では、気持ちが引き締められ、良い刺激になったようにも感じられた。

今回は、仕事でのニューヨーク滞在であったため、楽しい思い出ばかりではなかったが、異文化からの刺激と、自国の文化を新たな視点で見つめ直す機会が得られ、そういう意味では有意義な滞在であった。

たつと みか  
達本 美香(商学部 講師)



# ホームページ改編で目指すもの 「使える道具」へ

新年度を迎えるにあたり名古屋学院大学のホームページを刷新しました。最大の変更点は、学外向けと学内向けの二本立てにしたことです。在学生は、学内向けのページで大学からの必要な情報を得ることにあります。

外部業者の委託でなく学内作成なので、学内利用者の立場を盛り込んだ構成となっています。学外向けは公式ホームページなので、大学の正面玄関としての役割を持つとともに、NGUの情報発信の「道具」として活用予定です。

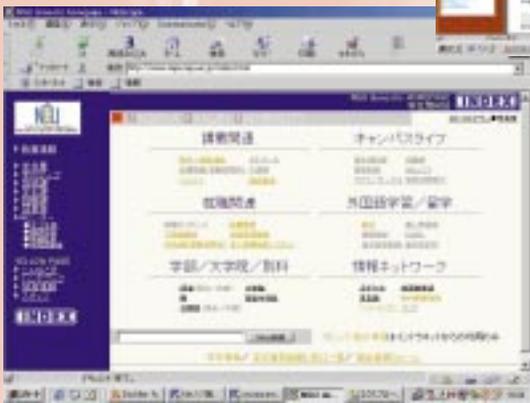
道具は利用者にとって使い易く便利でなくてはなりません。そこでクリック3回以内で必要な情報に辿り着けるような配慮をしています。各トップページでは誰に向けての情報であるかを明示することで利便性を向上させました。

今回の改編では、学内HPにおいて学生へのアプローチを試みています。一度だけ配布される就職要覧やNGUハンドブックをWEBページとして学内HPからいつでも閲覧できるようにしました。また、最もニーズが大きい



公式ホームページ(学外向け)

である講義情報をWEBページだけでなく、i-modeでも確認できるサービスを実験的に運用しています。どの学生に、いつどのような情報を、どのように提供すればよいのかが、新しい道具を活用する上で重要な考え方です。学生が必要とする講義内容やテストなどに関する情報の提供方法は、まだ決まったスタイルはありませんので、これからの試行が必要です。



学内ホームページ

今回の刷新で、ようやく情報ネットワーク社会へ対応するためのスタート地点に着いた

ホームページ運営実務委員長

児島 完二

(経済学部助教授)

と考えています。というのも、HPを本当に「使える道具」とするためには、多くの課題が残されているからです。質・量ともに内容の充実はもちろんのこと、情報公開レベルの設定および管理(セキュリティ・個人情報)、情報の更新手続きなどの整備が必要です。また、情報が氾濫するインターネットの中で、有用で適切なサイトへ学生を導くようなリンク設定も重要です。新しい技術については、大学での利用可能性を模索しなくてはなりません。

大学がすべき情報基盤整備は、今やハードからソフトへ、すなわち情報コンテンツの作成・提供そして蓄積へとシフトしています。ストックされた情報をうまく整理・配信すればネットワークは、情報化社会での大学評価の一部になるはずです。また、そのような大学こそ、遠隔講義などの新しいスタイルの可能性が拓けてくると思われれます。

常に便利なHPであるためには、利用者の声が一番大切です。独善的にならないためにも、是非、一度ご覧いただき、学内外の忌憚なきご意見・ご要望をお待ちしています(メールはトップページから送信できます)。

最後に、この紙面をお借りして、HP作成に協力してくれたゼミ生に感謝したいと思います。

名城ゼミ

名城 邦夫  
(経済学部教授)

名城ゼミの基本方針は西ヨーロッパを中心とする欧米の社会経済的発展の特徴についてできるだけ広く考えるよう努力することです。ゼミではまず、3年次に2冊の西洋経済史の概説書を輪読し、各自分担任して報告してもらいます。そして12月までに各自の卒論のテーマを決めてもらいます。その際、表題と参考文献4冊、そしてそれに関する要旨を400字程度にまとめて提出します。卒論のテーマは欧米の社会経済的発展に関するものであれば、できるだけ認めることにしています。私自身の研究テーマはドイツ中・近世市場経済の発展についてですが、学生諸君にはどちらかというと近代・現代史のテーマを選ぶ人が多く、それも『ファシズムの歴史』や『サッカーの歴史』、さらには『ナチスドイツの歴史』等様々なテーマを選ぶ学生もいるなか、できるだけ経済史的関連を持たせる形でまとめるように指導しています。



学生が多様化していますので、指導方針についてもこれまでのように自主性に任せるだけではなく、教える側が明確な目的意識を持って指導していく必要があると思うようになりました。具体的には、ゼミの研究テーマをきちんとした統一テーマとして学生に提示し、それを充分理解した上で、ゼミを選択するようにすべきであり、自ら選んでゼミに入った以上は、関連する個別テーマを教員とともに学生が納得する形で決定していくべきであると考えます。そうすれば卒論の内容もよりよいものになるように思われます。

ゼミではリベラリズムを運営の方針とし、ゼミ幹を中心にできるだけの学生の自発性を引き出すように努めています。年2回のコンパやゼミ旅行も実施するように努めています。最近ではコンパ1回、ゼミ旅行は中止することが多くなりました。2000年度を機会にもう一度気合いを入れて、ヨーロッパ研究を通じて日本理解に少しでも近づこうように学生と一緒頑張りたいと思っています。

姜ゼミ

姜 喜永  
(商学部助教授)

姜ゼミの研究テーマは、証券投資および証券市場に関する理論的・実証的研究であります。証券投資は将来の不確実性からくる証券の価格変動リスクの評価・管理問題に焦点を合わせています。もし、証券のリスクを的確に評価・管理できるならば、目標とする証券の収益率が確実に達成できるからです。また、証券投資の効率性を高めるためには、証券市場の構造およびその経済的機能を理解することが必要となります。

このようなゼミの研究テーマに沿って、3年生は関連書物を輪読し、4年生は各自の卒業論文を作成していきます。

私は、卒業論文を作成するための基礎的な勉強をしっかりとすることは勿論、大学で良い友達を作ることでも大切であると考えています。それも毎年2回、ゼミ・コンパを開いて気の合う友達と一緒に飲みながら親睦を図り、また海外へのゼミ旅行に出かけて良い思い出を作っています。それにより、2年間同じゼミに所属していた学生の間には素晴らしい友情が生まれ、またよそよそしかった先生とも親密な友達みだいになっていきます。



ゼミ旅行は、毎年韓国へ行っています。証券論のゼミですので、韓国証券取引所の見学を建前としていますが、ソウル近辺のいろいろな場所を見て回ります。このゼミ旅行が、参加した学生に新鮮な刺激になっていることが、ゼミ旅行を企画している私のやり甲斐であります。参加学生の2部ではありますが、今までホヤッとしていた韓国をはっきりと認識し、韓国だけでなくアジア、世界へと目を向け始め、旺盛な好奇心でどんどん海外旅行へ出かけるようになりました。また、留学に行く学生も増えています。

これからは韓国だけでなく、その他の国へゼミ旅行に行く計画も立てています。

## シリーズ Circle短信

### 体育会 スキー部

私たちスキー部は、部員全員スキーの大好きな人が集まっています。一言でスキーと言っても、様々な競技があります。規制された中でのスピードを競う「アルペン競技」、技術・演技力そして総合的な滑りを競う「基礎スキー」、さらに、オリンピックでもお馴染みの「クロスカントリー競技」、この三つの競技をしています。もちろん経験者もいますが、スキー部に入部してから初めてスキーをしたという部員も少なくありません。全員がそれぞれの目標をもち、そして何よりスキーを心から楽しんでいきます。シーズンは冬だけに限られてしましますが、オフシーズンのトレーニングが冬の成績に直接影響してきます。ですから、冬が終わってもすぐに、来シーズンに向けた陸上トレーニングが始まります。その結果、今シーズンでは、東海学生基礎スキー選手権大会で男子総合優勝、女子新人戦総合優勝、インカレで男子総合優勝を果たしました。そして、OBには全日本技術選手権大会に愛知県代表として出場している人もおり、技術的な指導をしてもらっています。しかし、大会での成績だけを求めるのではなく、普段の集団生活、シーズン

中の共同生活から得られる様々なものがあります。そうして、部員全員が人間として成長し、責任感を持つことにより大学生活がとても充実したものになっています。

最近、スキー界では大きな変化が見られます。カービングスキーに見られる道具の技術進歩、その逆で、スノーボード人気によるスキー人口の減少などがあります。それでも私たちは、スキーが良いとかスノーボードが良いとか言わず、スポーツとして楽しめるのならうまく共存していけると思います。スポーツは何より楽しくあることが一番だと思います。これからもスキーを二生涯のスポーツとして楽しんでいきたいと思っています。

(経済学部3年 西角和彦)



### 文化会 軽音楽部

軽音楽部は、主にバンド活動を中心としたサークルで、現在40人ほどの部員が所属しています。音楽ジャンルに関してはまったく制限される事なく、各部員それぞれが個性にあつた音楽を追求し、バンドとして音を出して表現する事に楽しさをおぼえている人間ばかりで、純粹に音楽を楽しんでいます。特に最近では、本学のアメリカ人留学生を部員として迎え、部員層も幅広くなってきました。名古屋学院大学には、軽音楽部独自の練習用スタジオが設けてあり、バンドの練習等はすべてここでこなしています。

当軽音楽部は、愛知県内にある7大学の音楽系サークルから成るYLMAC (YAMAHA Light Music Association) という団体に所属しています。ここでは、月に1度YAMAHAのホールで行われる定期ライブ、その他野外ライブ、春、夏には合同合宿に参加するなど、他にも様々なイベントが行われ、他にも様々なイベントが行われ、他大学との交流もさかんにあります。年間を通して、トータルで十数回ものライブをする機会があり、その中でも特に、学祭では自分たちでライブを企画し、自分たちでステージを作り上げ、バンドを披露



するなど、他では得られない達成感と満足感が得られます。軽音楽部のもう一つの一大イベントでもある定期演奏会は毎年2月にダイアモンドホールで行っており、大舞台での演奏をしています。そして、今年の3月には、去年1年間を通して軽音楽部内でオリジナル曲を発表してきた12バンドの音源を収録して、初めての名古屋学院大学軽音楽部オムニバスCDを発表しました。

今年も例年どおり、サークル紹介の時にはキャンパス内で野外ライブをやる予定ですので、音楽に興味のある方は、ぜひ見に来て下さい。

(外国語学部3年 八木秀悟)

マンガの達人

たかみ みのる  
高寺 稔



本学「漫研」OBの高寺稔さんが、これまでの努力が実ったプロデビューを果たしました。高寺さんは本学経済学部入学後本格的に漫画を描き始め、漫画研究会の主幹も務めました。1999年に卒業後、その年の4月には「週刊少年チャンピオン」編集長奨励賞を受賞。同年8月プロデビューを果たし、すでに2作品を發表しています。

漫画との出会いからプロデビューまでを語ってもらいました。

絵を描き始めたのは小学校4年生くらいだったと思います。きっかけは校内でのイラストコンクールでイラスト賞をとった喜びでした。賞状もないような賞でしたが、中学校では「く」を割った漫画を鉛筆でノートに描いて、友達や兄に見せましたが、どんなに下手でも絶対になさず、褒めてもらったことが続けられたことにつながったと思います。このころ、「将来は漫画家になります」とクラスで発表した記憶があります。高校に進学すると体育会系部活で忙しく、漫画家になるという意識は薄くなり、進路など現実も迫っており迷いました。それでもクラスに漫画家や小説家志望

の友達がいいて、漫画は描きつづけていた。友達に恵まれたいい環境だったと思います。

結局なんとなく大学に入学して、漫画研究会に入会し、初めて漫画中心の生活になりました。漫研の先輩や友達に恵まれ、ここで初めてGペンやスクリーンという漫画道具を教えてもらい、初めて「漫画という形」の作品を描きました。でも作品として残る漫画は4年間で150ページにしかなりません。4年になり「現実」を肌で感じ就職活動もしましたが



週刊少年チャンピオン1999年40号「ドラック・ラデ」練習カット

時代なのか運命なのか、単に力不足なだけなのか就職先も決まりませんでした。この際やりたことをやらせてほしいと思っ、卒業するまでの4か月で4作品、86ペー



「ドンカン・モチーフ」週刊少年チャンピオン21号表紙用カット

ジの漫画を描き投稿しました。4月には、週刊少年チャンピオンの賞をもらい、担当の方がつきましました。賞の位置づけは高くありませんでしたが、これがきつかけになり、これまで2つの読み切りを發表しています。

漫画のテーマは10代、20代の人間の悩みや楽しさなどをエンターテイメント性を持たせて描くことです。

漫画の世界では、私くらいの実力と立場の人は「ごまん」といいます。でも、やりたい

ことを見つけ、それで生きていくと決めたからには、勝ち組になりたいと思います。いまはアルバイトをしながら描いていますが、漫画家意識を高くもち、努力していきたいと思っています。

全国の人に読まれる漫画というものは、社会や個人に影響をもつと思うので、作品に責任をもち、描いていきたいと思っております。

今後、私の作品を読んで、何か感じていただければ幸いです。

教育振興資金

募金の御礼とご報告

標記の募金につきまして、皆様には、ご支援・ご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。2000年2月1日から2000年3月31日までにご寄付いただきました方につきまして、感謝をもってご報告申し上げます。今後とも本学へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

学校法人 名古屋学院大学理事長  
名古屋学院大学教育振興資金募金委員長 内山 道明

寄付者ご芳名(順不同・敬称は略させていただきました)

〇 父母会関係				〇 役員・募金委員										
榎本 文雄	大館 利久	大野 筆	川原 實夫	工藤 克明	桑本 鈴木	始 泰生	竹田 和己	中村 永井	山本 幸治	横井 政守	吉川 寿人	清	佐藤 自郎	吉田 敬三
					14件 280,000円						2件 200,000円			

## 1999年度卒業証書・学位記授与式



1999年度卒業証書・学位記授与式が3月15日(水)午前10時30分から栄光館で挙行されました。

1999年度の卒業生、修了者は学部1,087名、大学院82名、別科7名合計1,251名で、学長からそれぞれの学部学科代表、専攻代表者に卒業証書・学位記、修了証書が授与されました。

## 佐藤自郎学長が退任

1997年4月第7代学長として就任された佐藤自郎学長が2000年3月をもって退任されました。外国語学部開設にともない1990年4月に本学ドイツ語の担当教授として赴任さ



れたのち、外国語学部長の重責も2期4年間果され、この間新たに始めた「自己点検評価活動」の委員長として、大学の教育・研究活動の活性化に尽力されました。

学長職としては、職責常任理事として大学経営に参画することは当然ですが、教学のトップとして大学院や政策学科の開設にあたられることもにカリキュラム改革や将来計画の策定に直接寄与されました。  
本学退職後は専門であるオーストリアの劇作家フランツ・ケリルツァ研究を深められるとのことでした。

## さかえサテライトの利用について

本学は主として社会人大学院生のために昼夜開講制による授業を「さかえサテライト」名古屋市中区栄4-1-1中ビル7階にて開講していますが、この4月から学部学生のみならずも利用ができるようになりました。「さかえサテライト」にはインターネット対応の情報コンセントが50口用意しており、各自のノートパソコンを持参すれば、学内と同じようにインターネット利用ができます。

さかえサテライトの学部学生への開放は、とくに就職活動を行う4年生などにとって都心のインターネット利用による就職情報収集ができ、オフィス街における会社訪問等の機会が増えることになり、その恩恵は大きいといえます。

本学ではサテライトの利用について、このほかに入試関係向けの対応もすすめており、高校生

や高校の進路担当者などの相談にも応じることであります。

## チャペルコンサートを開催

キリスト教センター主催の第35回NGUチャペルコンサート、林裕美子・小樽由布子ソプラノ・オルガンコンサートが開催されます。多くのおみなさんの入場をお待ちしております。



「林裕美子・小樽由布子  
ソプラノ・オルガン コンサート」  
日時 6月3日(土) 午後2時  
場所 本学チャペル  
ソプラノ 林 裕美子  
(はやし ゆみこ)  
オルガン 小樽由布子  
(こくね ゆうこ)

### プログラム

A. カンブラ 聖なるうたげ  
J. S. バッハ いと高きにいます神にのみ栄光あれ  
カンタータ178より「いかに喜ばしきかな、わが心は」  
プレリュードとフーガ ト長調

その他

## 2000年度父母会総会を開催

2000年度父母会総会は6月17日(土)に本学で開催される予定です。当日は父母会の決算・予算および役員改選などの議題のほか、学長・学部長から大学の現状や各学部の教育方針などについて報告させていただきます。詳細は別途ご父母あてご案内いたします。



# Information

## 2000年 5月～9月行事予定

### 5月

- 29日(月) 留学フェア(6月2日(金)まで)
- 31日(水) 外国人留学生との懇親会  
公務員講座Bコース開講  
(2月19日(月)まで)

### 6月

- 3日(土) チャペルコンサート
- 5日(月)・6日(火) 春季献血運動
- 6日(火) 2000年度就職ガイダンス
- 7日(水) 中国語スピーチコンテスト
- 13日(火) 就職講座(10月24日(火)まで)
- 17日(土) 父母会総会
- 18日(日) 実用英語技能検定(2級、準2級)
- 21日(水) 商学部企業見学会  
(トヨタ自動車株式会社)
- 28日(水) 学生大会

### 7月

- 22日(土) オープンキャンパス
- 24日(月)～28日(金) 英語教育セミナー  
(トロン大学 アリスター・カミング教授)

### 8月

- 19日(土)～22日(火) AO入試 体験入学
- 24日(木) オープンキャンパス
- 26日(土) 父母懇談会  
(浜松、四日市)

### 9月

- 2日(土) 父母懇談会  
(金沢、岐阜)
- 9日(土) 父母懇談会  
(本学)
- 15日(祝) 高校生英語スピーチコンテスト
- 16日(土) 父母懇談会  
(名古屋)
- 23日(祝) 大学院修士課程第 期入試  
経済学専攻・英語学専攻・中国語学専攻
- 30日(土) 大学院修士課程第 期入試  
経営政策専攻



みずた けんいち  
**水田 健一**

経済学部 教授  
経済政策論  
登山・ハイキング、テニス、  
鉄道(ローカル線)  
チャレンジ精神で頑張らしよう。



あんど みのる  
**安藤 実**

経済学部 教授  
財政学  
囲碁、川柳、掃除  
人間は毎日24時間ずつ死んで行く。

所属・職位 担当科目・配属先  
趣味 本学学生へのメッセージ

## 2000年度新任者紹介



い すうちよる  
**李 秀澈**

経済学部 講師  
環境経済学  
テニス・スポーツ競技観戦、  
音楽鑑賞、散歩  
実力と教養を4年間しっかり  
磨いて下さい。



おおいし くにひろ  
**大石 邦弘**

経済学部 助教授  
企業経済論  
読書、音楽鑑賞(クラシック)  
キャンパス内で迷子になって  
いる奴は私です。



かさい まさなお  
**笠井 雅直**

経済学部 教授  
日本経済史  
散歩、古書収集(絵はがき等)  
感性豊かな質問を期待し  
ています。



おおしも あきお  
**大霜 秋夫**

管財課 嘱託  
電気技師  
絵画・読書  
挑戦と情熱を永久に!



やざわ ただし  
**矢澤 雅**

外国語学部 助教授  
教育方法論  
読書、音楽鑑賞、テニス  
個性を伸ばそう。  
継続は力なり。



おのじま まこと  
**小野島 真**

経済学部 講師  
公共経済学  
ルアー釣り、サッカー  
一緒に自らを高め、成長し  
ていきましょう。



表紙写真 / 初夏のキャンパス - 湖面を舞う白鳥

本学キャンパスのコブクチョウは、四季おりおり学生の目を  
楽しませています。1昨年1羽が生まれ3羽となりましたが、こ  
のほど4個の産卵が確認されており、白鳥の赤ちゃん誕生が  
待たれます。

学校法人 **名古屋学院大学**

発行日 2000年5月29日

編集 名古屋学院大学 広報(UI)委員会

発行者 名古屋学院大学 学長室広報課 愛知県瀬戸市上品野町1350  
〒480-1298 TEL 0561-42-0317(広報課) ISSN 0915-8901

**本学の情報はホームページでもご覧いただけます**

<http://www.ngu.ac.jp/>